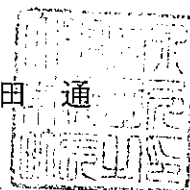


田都政第1659号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

大阪府泉南郡田尻町長 金田 通



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号をもって依頼のあった標記について、
別紙のとおり回答します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

大阪府泉南郡田尻町

安全で安心できる活力のあるまちづくりには、住民生活を支える最も基本的な社会資本である道路は整備・管理全般にわたり、その役割は大変重要であります。よって、地方の道路財源がより一層充実し、かつ安定的に確保される施策を展開することが必要です。国土交通省におかれては、次のことにご留意していただけますようお願いいたします。

1. 都市の再生や地域の活性化に資する道路整備を強力に推進するため、必要となる財源の確保と都市圏への重点的に配分し、真に必要な道路を早急に整備することが必要です。特に、第二阪和国道の整備については重点的に取り組んでいただきたい。
2. 国及び地域の社会・経済活動の発展を支え、かつ道路の渋滞や沿道の環境問題などの解決を図るため、高速道路の不連続区間の解消やインターチェンジへのアクセスの強化或いは弾力的な料金の設定など所要の施策を着実に推進することが必要です。
3. 都市の再生や安全で安心できる活力のあるまちづくりを推進するため、地域における幹線道路の整備や踏切道の改良や老朽橋などの対策及び地域間の連携促進を図る道路整備を一層推進することが必要です。更に、既成市街地に存在する狭隘道路について、建築指導行政などとも連携しながら、早急に対策を講じる必要があります。
4. 沿道の大気汚染や騒音対策及び地球温暖化問題に対応するため、道路環境対策を一層充実することが必要です。
5. バリアフリー、交通安全対策、防災対策など安全で快適な生活環境づくりには、国・地方公共団体が一体となって道路整備・管理全般にわたり一層推進することが求められます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

大阪府泉南郡田尻町

○現状

- ①旧来の既成市街地では、狹隘道路が多く、緊急車両の通行が困難な状況であり、緊急時に対応が遅れる可能性があります。
- ②また、地震などの災害時においても同様に避難・救助活動などにおいても対応が困難な状況であり、活動に支障がでる可能性が高いと思われます。
- ③昭和初期に建設された道路及び橋梁は、相当老朽化しています。

○課題

- ①狹隘道路対策においては、建築指導行政などとの連携が必要です。
 - ②老朽橋対策など多大な経費が必要です。
 - ③高齢者などの交通事故が多発しており、対策が必要です。
- 以上のような課題がある中で、本町においても高齢化が進んでおり、被害が大きくなる恐れがあります。また、財政的にも国・府の支援が必要です。

②-2 地域の目指すべき将来像

大阪府泉南郡田尻町

現在、本町総合計画の改訂作業中（以下は、平成10年策定の総合計画より抜粋）

まちづくりの理念・都市像

—くらしのまちをつくる—

- ・ 住民一人ひとりが互いの人権を認めあうことにより、それぞれの能力が十分に発揮でき、住民相互があたたくふれあえることを基本とし、だれにとっても生きがいのある元気な暮らしが保障されるまちづくりをめざします。
- ・ 人びとをとりまく身近な文化、身近な環境を住民みんなの手で育てつつ、安全・快適でうるおいに満ちた、ゆたかな暮らしの舞台づくりをめざします。

—であいのまちをつくる—

- ・ ますますグローバル化・ボーダレス化がすすむ地球社会を背景に、“小さなまち・田尻”は、大阪湾都市群のなかの空港のまち、りんくうタウンのまちとして、空・海・世界に大きく開かれた魅力いっぱいの“であいのまち”としての役割を果たします。
- ・ 空・海・世界につながる田尻での「人・もの・文化」のであいと情報の発信は、新たな田尻の“まち文化”を生み、新たな田尻の“活力”となって「くらしのまち」そのものを支えます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

大阪府泉南郡田尻町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
都市交通の快適性、利便性の向上	第二阪和国道の延伸・整備	地域間交通の円滑化、及び緊急時輸送路などとしての効果	